

日本ナレッジ・マネジメント学会 平成 20 年度 研究部会活動・計画

(平成 20 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで)

研究部会名	「知の創造」研究部会
研究部会長 連絡先	植木英雄（東京経済大学教授） E-Mail: ueki-mhk@tcat.ne.jp
コーディネータ 連絡先	植木真理子（京都産業大学准教授） E-Mail: ueki@cc.kyoto-su.ac.jp
研究部会メンバー	今年度 15～20 名程度の参加者を見込む。（新規参加希望者は、部会長まで E-メール連絡）

1. 本年度の活動方針

本研究部会では、企業における知の創造がどのような要因や条件により促進されるのか、また企業内外の環境変化に適応したマネジメントや知創造の「型」と進化のプロセスをケース・スタディによる探索から明らかにする。

まず、分析のための共通のインタビュー調査項目等を策定する。次に、業種、職種、日本・外資系等多様な視点から研究対象企業を選定し、メンバーが分担ないし協同で、ケース・スタディを行い、中間報告・討論することにより、研究課題を明らかにしたい。異業種・分野間交流を通じて新たな知や発想の気付きなどが楽しめるクリエイティブな「場」を目指したい。

方法：

- 1) 研究会では知の創造に関する内外の先行研究や事例研究をレビューする。
- 2) 知の創造に関心を持つ研究者、企業人、コンサルタントなどの多様なメンバーによるケース・スタディの中間報告と討論を行う。（事例研究は、単独ないし小チームで実施する。）
- 3) 企業事例の研究成果は、学会年次大会等で報告するとともに、2～3 年で成果をまとめて出版を目指す。

2. 本年度の活動・計画

名 称	活 動 内 容	日 時	場 所
「知の創造」研究部会 第 1 回研究会	事例研究のフレームワークと調査質問項目の検討等 記念講演：「ナレッジ・マネジメントの展開事例と課題—異文化組織における場のダイナミズムと再構築—」日本 HP（株）品質計画部/保証本部長・瀬川 隆司氏	6 月 19 (木) 午後 4:00-6:30	大手町ビル 533 号室 (14 名参加)
第 2 回研究会	事例研究のインタビュー質問項目の検討、調査対象企業の検討 事例研究の中間報告と討論	8 月 26 (火) 午後 4:00-6:30	大手町ビル 533 号室予定
第 3 回研究会	事例研究の方法と調査項目等の策定 事例研究報告と討論	10 月後半予定	
第 4 回研究会	事例研究報告と討論	12 月前半予定	